脳ドック
Checkup

脳ドック

日本の「三大疾病」というと、ガン・急性心筋梗塞・脳卒中といわれています。
この中で脳卒中は、健康診断や人間ドックでは発見できません。
脳ドックでなければ発見が困難です。



シンプル

認知機能検査と、脳腫瘍・脳梗塞などの発見に役立つ MRI 検査と、クモ膜下出血・脳動脈瘤など脳内血管障害の発見に役立つ MRA 検査に絞り込んでいます。
料金は 19,440 円（税込み）です。（料金は自由診療での金額です）

脳神経外科専門の医師

脳ドックの診断は、和歌山県立医科大学付属病院の脳神経外科を専門とする医師（日本脳神経外科学会専門医）が行っています。
※諸事情により脳神経外科を専門とする他の医師に代わる場合もございます。

Access
アクセス



公共交通機関でお越しになられる方

- 紀の川コミュニティバス「丸栖北」下車すぐ
- JR 和歌山線船戸駅よりタクシーで 5 分（徒歩約 20 分）
- 紀の川市地域巡回バス「巡回丸栖北」下車すぐ

社会医療法人　三車会
貴志川リハビリテーション病院
〒640-0401　和歌山県紀の川市貴志川町丸栖 1423-3
TEL　0736-64-0061 ／ FAX 0736-64-0063
〔HP〕http://www.mikurumakai.or.jp

Notice
お知らせ

クレジットカード

医療費をクレジットカードでお支払いできるようになりました。
お使いいただける時間帯は平日 8：30 ～ 18：00、
土・日・祝日 8：30 ～ 16：00
○支払い方法は窓口にてご相談ください。
○ご利用限度額をご確認のうえ、ご利用ください。

フェイスブック
Facebook

三車会は Facebook ページを運営しています。
お気軽にフォロー＆いいね よろしくお願いします。

facebook　貴志川リハビリテーション病院
facebook　赤ひげクリニック
facebook　たま整形外科
facebook　Acti-va

2018 年 10 月発行 / 広報誌みくるま通信　vol.18　秋号

社会医療法人 三車会　広報誌

秋号
Autumn
Vol.18

2018

みくるま通信

Lineup
掲載内容

・訪問リハビリ　特集
・JRAT 活動
・脳ドック
・クレジットカード

リハビリテーション部
Rehabilitation

訪問リハビリ

当院の訪問リハは、具体的な目標を設定し実際場面での練習を集中的に行います !!

様々な病気やケガの後遺症で身体能力が低下し、一人でトイレに行ったり
食事をするといった日常生活の動作が難しくなってきた方を対象に
自立して生活できるよう具体的な目標をご本人、ご家族と設定して
自宅というもっとも身近な環境の中で集中的にリハビリを行っていきます。



～ 当院の経験豊富な３つのリハビリ専門スタッフがお伺いします～

理学療法士

「理学療法」の中心は運動療法であり、起き上がる・座る・立つ・歩くなどの基本動作能力の改善を目指します。
その為に関節可動域運動・筋力増強運動・起居動作練習・バランス練習・歩行練習等を、解剖学・運動学あるいは神経生理学的な知識等を応用しながら行うリハビリです。





作業療法士

主体的な活動の獲得をはかるため諸機能の改善及び開発を促すリハビリが「作業療法」です。
日常活動の諸動作、仕事・遊び・趣味活動など人間の生活全般に関わる諸活動 (動作) を作業療法の「作業活動」と呼び、治療や援助もしくは指導の手段として行うリハビリでスムーズな動作を目指します。





言語聴覚士

「言語療法」ではコミュニケーション能力や飲み込みの機能が難しくなった方への支援を行います。在宅では実際の生活の場から、よりよいコミュニケーションの方法や安全な食事提供の方法を提案することができます。また、具体的なリハビリの方法をご本人やご家族の方に知って頂き、継続的な支援を行う事が出来ます。





1 身体・全身状態のチェック

★体温・血圧・脈拍測定　　★状態の観察

2 心身機能・生活動作の改善

★生活動作の練習　　★ご家族への介助指導

3 住宅の改修・福祉用具の提案

★手すりの高さや位置の提案　　★住環境改善の提案
★必要な福祉用具の提案

4 報告・連携

★主治医への状態報告　　★ケアマネジャーとの連携
★リハビリの進捗状況報告　　★サービス担当者会議への出席

お問合せ先　貴志川リハビリテーション病院　訪問リハビリ室

〒640-0401
和歌山県紀の川市貴志川町丸栖 1423-3

TEL 0736-79-8102
FAX 0736-79-6900

リハビリテーション部からのお知らせ

2018 年 7 月 29 日～ 31 日の三日間、当院より「西日本豪雨災害における JRAT 活動」へ参加しました。
後日、現地での救援活動などの報告会を当院職員向けに開催し多くの職員が被災地の状況や支援内容に耳を傾けていました。







